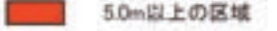


津波・高潮 ハザードマップ (津波浸水予測図)

凡 例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

	5.0m以上の区域
	2.0m~5.0mの区域
	1.0m~2.0mの区域
	0.5m~1.0mの区域
	0.5m未満の区域

【高松地区】



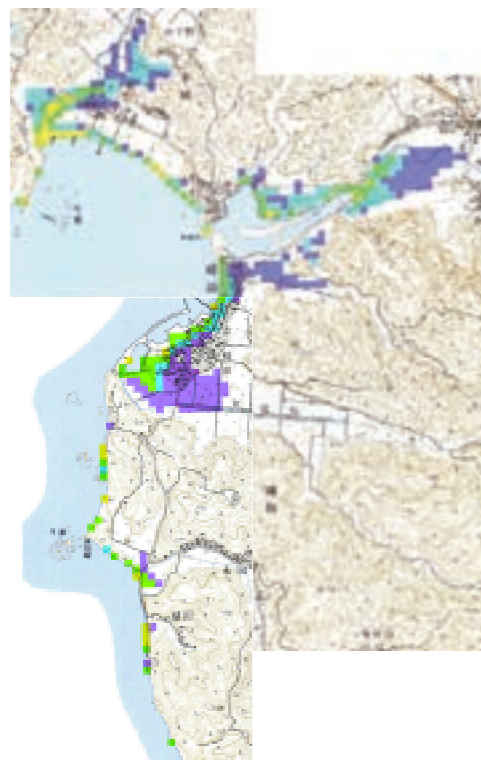
【福島地区】



【市木地区】



【本城地区】

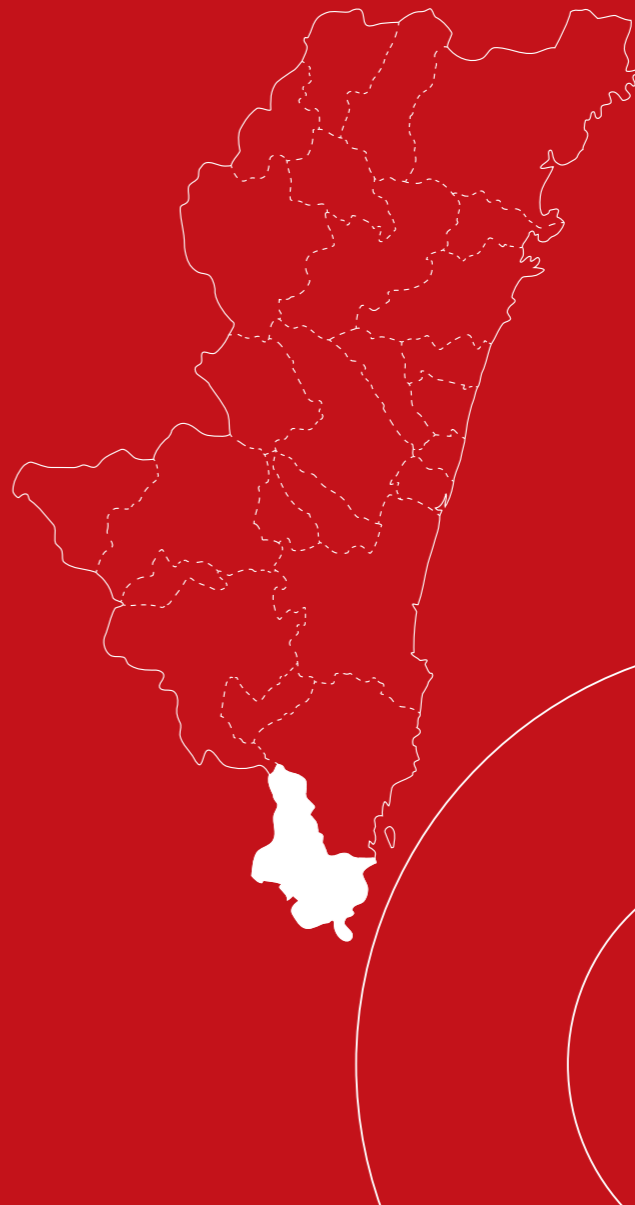


【都井地区】



東日本大震災では一瞬のうちにやってくる津波によって多くの方の命が失われました。地震や津波などの災害の際には一刻も早い避難が大切です。避難場所、移動方法などもう一度確認しましょう。

災害の備え、 万全ですが



三陸地方には昔から「津波でんでんこ」という言葉があります。明治の津波の際、親が子を助け、子が親を助けて共倒れになったケースが多かったという教訓から生まれた言葉です。津波のときだけは親が子を、子が親を構っている暇はない、親子といえども人を頼りにせず、てんでバラバラになって一秒でも早く高台へ避難して、一家全滅にならないようにと親から子へ伝えられています。過去の津波で亡くなった人の大部分は、津波がそんなに早く来るとは思わなかった、家族全員で逃げようと家族を捜していた、車に家財を積んで逃げ出すが遅れた、貴重品を取りに家に戻ったというような方々でした。

■対応・高台への避難

串間市では日向灘南部地震の津波の高さを3・53mと想定していますが、場合によっては想定外の津波が発生するかもしれません。

日向灘地震の場合、速いときには10分前後で到達するものと考えられます。今回の東北地方太平洋沖地震では津波が海岸線から4km以上内陸に達している所もあります。沿岸付近はもちろん、内陸でも海岸から低地が続いている所にいる人は強い揺れを感じたときには直ちに高台に避難してください。